

野外運動研究室ニュースレター

編集：筑波大学野外運動研究室広報係
発行：筑波大学体育系 野外運動研究室
〒305-8574 つくば市天王台1-1-1
TEL/FAX 029-853-2729

【巻頭言】

ひとのちから

久米 あゆみ (MC2)

野外研に入って2度目の春が来た。思い起こせば、去年の春の記憶は非常に断片的だ。新しい研究室に飛び込んできて右も左も分からなかったこともさることながら、院生とはこんなにも忙しいものなのかと、次々に舞い込む仕事の多さに気が滅入る暇もないまま飛びついて行くしかなかった。(少しあとに他の研究室の友人から、「野外は特別忙しいよ。」と言われ、なんだか力が抜けたのを覚えている。)院生でこんな状況なのだから、先生方の忙しさは格別なのだろうと思い、それをこなしていく力を身につけなければ野外研ではやっていけないな、と帰宅時にはしっかり消えているA棟4階の窓の電気を見ながら思っていた。

精一杯でしか駆け抜けられなかった2011年だったが、今やっと立ち止まって振り返った時、自分の中で何が一番印象深かったかを考えると、「人の力」であったかなと思う。もちろん、野外で何かをしようとした時に必要不可欠なのは人であるし、何をやるにも人手不足ではやっていけない。そういった意味では、去年は院生が少ない中で多くの室員に様々な研究室行事の場面で協力してもらった。感謝の言葉は尽きない。しかしそれ以上に、院生も含めて室員全員の「ひとのちから」に救われた日々だったのかと思う。人間力とも言えるのだろうか、野外研の室員は1人1人が自分の色を持っていて、それを表現したり周りとうちがわりしたりするのが上手いなあと過ごしながら感じた。ぶつかる時も多々あるが、最後には一つの目標に向かってそれぞれの色を上手く発揮して動くことができる。野外はそこに集まる人なのだと思えた日々であった。

野外で必要とされるものはいろいろあるが、ハード面だけでなくソフト面、つまりは人間的な魅力を磨くことも必要不可欠なことだと思う。その中で自分を磨くことと、自分の心を磨くことを忘れてはいけない。誰にだって長所もあれば短所もあるし、それが個性である。自分の心を磨いて、人のいいところを見つけられる感覚を身につけら

れたらと思う。

2012年はどんな出会いが待っているのだろうか。春になると少しの不安を覚えながらもワクワク期待してしまうのは何歳になっても同じだろう。室員全員に素敵な野外との出会いがありますように。今年度も野外研にとっていい1年になりますように。野外研の歴史に刻まれる新しい1ページを、みんなでいろいろな色に染めていけたらと思う。

【授業関連報告】

○野外教育・スポーツ実習Ⅲ(雪上)

日比野 功宜 (MC2)

平成24年3月8日から13日にかけて長野県の戸隠にて実習が行われた。今回はスキー講習3日間、クロスカントリースキーツアー1日間、個人別活動を1日間というプログラムであった。野外研からは久米、清水、日比野の3人が参加した。他の研究室からは6名が参加し、計9名での実習を行った。大学院の実習ということで、講習はもちろんのこと、クロカンスキーツアーや雪上泊を経験し、非常に実践的なプログラムであった。特に野外研の3人が別れて別々のグループに入り活動したクロカンツアーでは、野外研の3人は周りをサポートしながらの活動でイニシアチブを発揮する場面も必然的に増え、非常に良い経験になったのではないかと感じている。私自身は今回、冬の戸隠を初体感したので、次回は夏の戸隠を初体感してみたいと思う。



写真：MC 雪上実習 瑠璃山にて

○スノースポーツ実習

佐藤 冬果(MC1)

2012年3月8日～12日の4泊5日、新潟県岩原スキー場にて共通体育の集中授業であるスノースポーツが行われ、野外運動研究室からTAとして向後、補助員として佐藤が参加した。

実習はスキー班、スノーボード班ともに3班に分けられた班ごとの講習がメインの活動であった。その中でTA・補助員の役割は、レンタルやその他装備の管理、参加者のチューンナップ対応といった装備に関すること、写真・ビデオ撮影などの活動の記録に関すること、そしてパトロールであった。

スノースポーツの補助員の経験をして強く感じたことは、「対応力」の重要性であった。参加者の板を交換することになった時には、どこにどの装備がどの程度あるのか把握していないと動けないし、その場で前圧と解放値を合わせられる準備も必要である。また、講習担当の先生から、このリフト1本分よろしく！と、突然参加者を任せてもらう機会もあり、そういった機会を無駄にしない為の対応力も必要であると感じた。そういったことに対して、当たり前、スムーズに対応できる力を高めていきたいと感じた経験であった。

【課外活動関連報告】

○整備実習

梶田 歩 (MC1)

4月4～6日の日程で、野生の森の整備実習を行った。整備実習の目的としては施設・道具の点検補修を行うことでその使用方法、管理方法を学ぶこと、室員のコミュニケーションを図ることである。今回は室員の出席状況が芳しくなかったため、2班で作業を行うことになった。研究室全員で作業をしたりコミュニケーションを取る機会は意外と少ないので、UGの学生は部活動等忙しいとは思いますがもっと優先して参加してほしいと思う。一方ひとが少なかつたわりには、昨年申し送り事項も含め十分な整備が行えたのではないかと感じている。同時に1年経つとここまで使いづらくなっているのかとも思った。倉庫整備などは片付けの仕方やこまめに掃除をするなどで、ある程度対処できる部分もあると思う。1年に一度するのではなく、使うときから大切に使う習慣ができればいいなと感じた。

○新入生オリエンテーション 筑波山登山

清水 啓一(MC2)

平成24年4月12日、筑波大学体育専門学群の新入生を対象に、オリエンテーション企画として筑波山登山がおこなわれた。研究室からも10名のスタッフが参加し、このイベントをサポートした。

当日は終日晴天に恵まれ、心地よい春の陽気のなか登山が始まった。私は、全体を3つの隊に分けた中の2番目の隊のラストを務めた。登山中、自分の近くにいる班の様子を観察していたのだが、どの班も、最初はぎこちないコミュニケーションしか取れないようであったが、次第に打ち解け、御幸ヶ原～下山にかけては非常に良い雰囲気でも活動していた。

もしかしたらこの先彼らの多くは部活動を中心とした友人関係が多くなっていくかもしれないが、今日のような経験が、それとは別の輪となって広がる一つのきっかけになってくれればと思う。



写真：整備実習 ハイビーム補修作業

【新専攻生自己紹介】

○安 柄泰 (UG3)

今回野外運動研究室で学ばせていただくことになった安 柄泰です。一年時に受けた野外研の先生方の授業を通して野外活動の楽しさを知りました。野外研といえば、やはり実習だと思うのでどんどん積極的に取り組んでいきこの二年間を思いっきり楽しもうと意気込んでいます！よろしくお願ひします。

○北川 武 (UG3)

ごきげんよう。桜が舞うこの季節、皆様如何お過ごしでしょうか。申し遅れましたUG3新専攻生の北川武です。野外研でやりたいことがたくさんありすぎて書き切れないので割愛させていただきます。仲良くしてください。

○庄司 翔太郎 (UG3)

体育専門学群3年、蹴球部所属の庄司翔太郎です。多くの野外での体験をすることで、野外運動の可能性を見つけ、自分自身も大きく成長していきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひし

ます。

○中野 友貴 (UG3)

今年度から野外研に入りました3年の中野友貴です。

私は、小さい頃からキャンプなど自然に触れることが好きで、この野外研に入りました。これから野外研でたくさんの経験をして、たくさんの人に自然に触れて遊ぶことの楽しさを伝えられるようになればいいと思います。これからよろしくお祈いします！

○藤田 花子 (UG3)

野外運動分野における知識を、講義・実習を通して得、将来に向けより広範なものの方・捉え方も身につけていきたいと思っています。好奇心を持って全てを楽しむ、をモットーに。これからよろしくお祈いいたします。

○渡 元春 (UG3)

カヌークラブでスラロームやフリースタイル競技をしています。カヌーはもちろんのこと、スラックラインやボルダリング、ラフティング、スキーなどいろいろな活動に取り組んでいきたいです。よろしくお祈いします！

○加藤 拓史 (MC1)

4月から大学院1年に入学した加藤拓史です。野外運動についてはこれまでほとんど学んだことがないので、まずは2年間、たくさん学んでいきたいと思っています。できないかもしれないと思う時も、「まずチャレンジしてみる!!」の姿勢で何事にも挑戦していきたいと思っています。これからよろしくお祈いします。

○佐藤 冬果 (MC1)

佐藤冬果です。生物資源学類でキャンプ場の植生の研究をしていました。ずっと目標だった野外教育の勉強・研究が出来ることが嬉しくてたまりません。実践力と知識をつける院生生活を送りたいと思いますので、よろしくお祈いします。

【研究室関連授業 (3 学期) / 研究室連絡】

○学群関連科目

- ・野外教育・スポーツ実習 I (キャンプ)
- ・野外教育・スポーツ論

○大学院関連授業

- ・野外教育・スポーツ指導理論
- ・野外教育・スポーツ実習 I (キャンプ)
- ・野外教育・スポーツ指導実習IV(セラピー)

【オプションツアー告知】

○妙高バックカントリースキーツアー

期日：4月28～4月30日

参加希望者は清水まで連絡ください！

【野外関連イベント告知】

○日本野外教育学会第15回大会

期間：平成24年7月7日～8日

場所：沖縄キリスト教短期大学

○Camp Meeting in Japan 2012 (第16回日本キャンプ会議)

期間：2012年5月26日

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

○自然遊び指導者養成研修会 2012

期間：2012年5月13日～

場所：埼玉県狭山市 稲荷山公園

○日本登山医学会学術集会

期間：2012年6月16日～17日

場所：九州大学筑紫キャンパス

【スタッフ募集】

○実技理論・実習 (野外運動)

内容：ASE指導

期日：4月25日、4月27日ともに1・2限

○実技理論・実習 (野外運動)

内容：デイキャンプ補助

期日：5月30日～翌朝、6月6日～翌朝

【編集後記】

新年度がスタートしました。野外研も新UG6名新MC3名を加えこれからますます盛り上げていきましょう！

(広報担当 清水啓一)

